

《Paris sans fin》

東京大学駒場博物館特別展

《終わりなきパリ》、そしてポエジー

アルベルト・ジャコメッティとパリの版画展

Alberto Giacometti



Cette richesse illimitée
partout, partout

いたるところこの限らない豊かさ、いたるところ

会期 | 2014年4月26日(土) → 6月29日(日) 会場 | 東京大学駒場博物館 入場無料

開館時間 | 10:00 → 18:00 (入館は17:30まで) 休館日 | 毎週火曜日 (4月29日、5月6日、5月13日は開館) *5月28日(水)から部分的に作品の入れ替えを行います。

主催 | 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 駒場博物館

後援 | 在日フランス大使館 アンスティチュ・フランセ日本

写真—ジャコメッティ《終わりなきパリ》個人蔵(撮影:相澤裕明)



東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部



90^e ANNIVERSAIRE
DU PARTENARIAT CULTUREL
FRANCO-JAPONAIS
日仏文化協力90周年



1924・2014

《終わりになきパリ》、そしてポエジー

アルベルト・ジャコメッティとパリの版画展

この展覧会は、アルベルト・ジャコメッティが最晩年に制作したリトグラフ《終わりになきパリ》連作を、かれのアー
トに強い影響を受けた同時代の詩人たちの言葉との《響き合い》の空間に解き放つ展示「パリ・ポエジー」
Paris - Poésieを中心に、そのまわりに19世紀の中頃からはじまる《現代性(モデルニテ)》の刻印を刻まれた
多様な作品が集まる小さな回廊「パリ・パサージュ」Paris-Passageが配置された構成になっています。

Paris-Passage I

「テクニックと光の聖なる戯れ、現代絵
画が生まれたのだ」とジョルジュ・バタイ
ユが書いたのは、マネの《オランピア》
(1863年)についてでした。のちに「19世
紀の首都」と呼ばれるパリという大都市
の現代的な空間の整備がはじまるのは
この時代からです。都市とアートとが絡
み合いながら、「現代性」modernitéの
空間が組織されていく。その複雑なプロ
セスを、もちろんここでは正面から追うこ
とはできませんが、華やかで多様な流れ
を彩るいくつかの作品を展示すること
で、そのパッチ・ワークのなかから19世
紀後半から20世紀末にかけてのパリと
いう都市の「生命のかたち」——それが
「ポエジー」です——が立ち上がってくる
ことを夢見たいと思います。

起点となるのは、マネ自身による《オ
ランピア》の版画の第2ヴァージョン。そ
こから出発して、メリヨン、ゴーギャン、モ
ロー、などを経て、ダリ、ブラック、マン・レ
イなどの小品の展示。さらには、建築家
ル・コルビュジエのリトグラフ6点が特設
コーナーを構成します。また、戦後のパ
リに住んだ、今井俊満、菅井汲、木村忠
太、黒田アキラの作品も展示します。



マネ《オランピア》



ゴーギャン《宇宙創造》



ル・コルビュジエ《骰子は投げられた》

Paris-Poésie

当館所蔵のマルセル・デュシャン《大
ガラス》(東京ヴァージョン)の周りの空間
は、今回、最晩年のアルベルト・ジャコ
メッティが「終わりになきパリ」でとらえた
パリの、そして日常の「限らない豊かさ」
の光景に捧げられます。150点ものリト
グラフからなるシリーズですが、その多く
を同時に見ることのできる機会は滅多に
ありません。ここでは、会期中で展示
の入れ替え(5月28日予定)をしつつ、毎
回数十点の作品を展示します。

またジャコメッティの芸術的探求に深
く影響されたのが、かれの死後に発刊さ
れた『レフェメール』誌の詩人たち(アン
ドレ・デュブーシェ、イヴ・ボヌフォワ、ジャック・
デュバン、パウル・ツェラン、パスカル・キ
ニャールなど)。かれらの詩のことばと
ジャコメッティの眼差しとの《響き合い》
résonanceを演出します。また、当展覧
会のために寄せてくれたパスカル・キ
ニャールの手書き原稿も展示します。

Paris-Passage II

最後のコーナーは写真です。写真家・
相澤裕明のパリ組み写真と詩人・ジェ
ラルール・マセが当展覧会のために寄
てくれた写真とテキストを展示します。

関連企画

◆いずれも入場無料・予約不要

高校生のための金曜特別講座

「《終わりになきパリ》——ジャコメッティとパリ」

日時 2014年5月9日(金)17:30~

場所 東京大学駒場Iキャンパス18号館ホール

講師 小林康夫(本学教授)

「ジャコメッティのパリをめぐる」

日時 2014年5月13日(火)17:00~19:00

場所 東京大学駒場Iキャンパス18号館ホール

発表者 松浦寿夫(東京外国語大学) 進藤久乃(学習院大学)
小林康夫(本学) 桑田光平(本学、司会)

主催 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属
共生のための国際哲学研究センター(UTCP)

*他の関連企画は当館ホームページをご確認下さい。

